

# 衆議院東日本大震災復興特別委員会ニュース

【第 201 回国会】令和 2 年 3 月 10 日（火）、第 3 回の委員会が開かれました。

1 明 11 日で東日本大震災から 9 年を経過するに当たり、亡くなられた方々に対し、黙祷をささげました。

## 2 東日本大震災復興の総合的対策に関する件

・田中復興大臣、横山復興副大臣、石原環境副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者）小田原潔君（自民）、津島淳君（自民）、三谷英弘君（自民）、浮島智子君（公明）、玄葉光一郎君（立国社）、階猛君（立国社）、山崎誠君（立国社）、岡本あき子君（立国社）、小熊慎司君（立国社）、金子恵美君（立国社）、高橋千鶴子君（共産）、杉本和巳君（維新）

（質疑者及び主な質疑事項）

### 小田原潔君（自民）

#### （1）被災した子供に対する心のケア等の支援

ア 被災した子供に対する心のケア等の取組状況

イ 震災の年に生まれた被災地の児童（小学校 3・4 年）の不登校・多動の多さと震災との関連性の有無

ウ スクールカウンセラーよりも、家庭を含めた福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカーの配置の必要性

エ 学校現場において予算が不十分なため、スクールカウンセラーの配置時間を減らしている現状に対する政府の認識

オ 復興・創生期間後における子供に対する心の復興事業の継続に向けた復興大臣の決意

#### （2）災害公営住宅における見守り事業の継続に向けた復興大臣の決意

#### （3）住まいの復興工程表に基づく土地区画整理事業

ア 造成した宅地の活用状況

イ 造成した宅地の空き区画に対する利活用促進の取組

### 津島淳君（自民）

#### （1）被災 3 県における医療機関の被災状況

（2）政府の検証により得られた災害派遣医療チーム（DMA T）の活動の課題を今後の大規模災害時の医療に活用する必要性

（3）災害時等において既存の自衛隊の医療設備を備えた艦船や民間船をいわゆる病院船として活用する必要性

（4）自衛隊の医療設備を備えた艦船を災害時に活用できるよう、防災訓練への参加等の取組の状況

### 三谷英弘君（自民）

#### （1）除染の進捗状況

（2）常磐自動車道双葉インターチェンジの開通及び J R 常磐線の全線再開の意義

（3）国内外における風評被害対策の取組

（4）福島イノベーション・コースト構想の狙い

### 浮島智子君（公明）

- (1) 双葉郡 8 町村周辺の教育環境
  - ア 双葉郡 8 町村の小中学校における現在の児童生徒数及び震災前の人数との比較
  - イ 復興・創生期間後も教員等の加配措置を継続する必要性
  - ウ ふたば未来学園高校の探求学習を始めとしたカリキュラムの特色
  - エ 小高産業技術高校の学科構成、教育内容、学科ごとの入学志願者の倍率
  - オ 高校教育段階での学びの場を広げていくため、高校の在り方を柔軟に検討する必要性
- (2) 子供の心のケアのため、地元の伝統、文化、芸術活動に対する支援の必要性
- (3) 「復興庁設置法等の一部を改正する法律案」（内閣提出第 33 号）に盛り込まれている新たな住民の移住、定住等の促進の方向性及び考え方

### 玄葉光一郎君（立国社）

- (1) 「復興・創生期間」後の東日本大震災からの復興の基本方針」の中で令和 3 年度から 7 年度までの事業規模と財源で想定される事業規模を約 1 兆円台半ばとした根拠
- (2) 帰還困難区域全ての避難指示解除
  - ア 解除に要する期間
  - イ 国が財源を含め最後まで責任を持つことの確認
- (3) 政府が今まで実施してきた風評払拭の取組の中で最も効果的であった取組、効果的でなかった取組の具体例
- (4) 福島イノベーション・コースト構想の中の浜通り地域に設置される国際教育研究拠点の組織形態についての現時点で検討状況

### 階猛君（立国社）

- (1) 被災地に移住者を増やすため取組
  - ア 現状の取組及び今後の取組の方向性
  - イ ①市町村ごとの移住者の実態把握、②事業復興型雇用確保事業の雇用者の要件緩和等、③復興支援員の地元定着のための支援の拡充の 3 つの必要性に対する復興大臣の見解
- (2) 被災者支援の目指すべきゴール
- (3) 災害公営住宅の家賃上昇に伴い、現役世代の入居者が退去する現状に鑑み、自治体等活動に参加する現役世代に対し家賃を減免する必要性

### 山崎誠君（立国社）

国家公務員宿舎に入居する自主避難者

- ア 未退去の自主避難者への住まいの確保等に向けた相談、対応の現状
- イ 自主避難者に対する国の責任についての復興大臣の見解
- ウ 福島県が未退去の自主避難者に対して損害金という形で 2 倍の家賃請求を行っていることに対する復興大臣の認識
- エ 未退去の自主避難者に対する経済的支援の必要性

### 岡本あき子君（立国社）

- (1) 令和 2 年 3 月 7 日の安倍内閣総理大臣の福島訪問

- ア 主な視察日程
  - イ 具体的な視察先等の日程を復興庁が設定したことの確認
  - ウ 訪問先のぶら下がり記者会見に地元の記者への案内の有無
  - エ 内閣総理大臣等の政府要人が地方視察する際に地元記者が参加可能な記者会見にする必要性
- (2) 9年前も震災で卒園式等が中止となった被災地の中学3年生の卒業式が新型コロナウイルスへの対応により縮小されることについて、復興庁として当該生徒に対する心のケアを求める必要性
- (3) 復興庁の組織が存続する間にこれまでの復旧・復興事業を検証し教訓を継承していく必要性

#### 小熊慎司君（立国社）

- (1) 政府主催の追悼式を発災から10年を迎える来年度末で終了させることとした経緯
- (2) 復興庁の延長にあわせて、追悼式をさらに10年間実施する必要性に対する復興大臣の見解
- (3) 福島第一原発の敷地内に保管されている多核種除去設備等処理水を環境放出せず、敷地外で保管を継続することに対する復興大臣の見解
- (4) 中間貯蔵施設に貯蔵されている除去土壌の再生利用
- ア 再生利用の対象区域が福島県内に限定されていないことの確認
  - イ 復興大臣の地元で再生利用することについての見解

#### 金子恵美君（立国社）

- (1) 本年3月11日における復興大臣としての弔意の示し方
- (2) 本年3月の特定復興再生拠点区域等の一部で避難指示解除が行われたことに対する復興大臣の認識
- (3) 避難指示解除に伴う防犯体制の整備等の新たな課題への対応方針
- (4) NHKの東日本大震災9年アンケート調査において、福島県民の多くが思い描いていた復興と違うと回答していることに対する復興大臣の見解
- (5) 双葉町、富岡町、大熊町の住民意向調査の回収率が低く、「戻りたい」と回答した被災者が10%前後である状況を踏まえた今後の施策の在り方
- (6) 本年3月に終了する、富岡町と浪江町の全域、葛尾村、飯舘村の帰還困難区域からの避難者への応急仮設住宅の供与
- ア 供与終了後の避難者の住まいの確保状況及び支援継続の必要性
  - イ 住まいの確保の見通しが立たない避難者が存在することの確認
- (7) 被災者支援を地元任せにせず、復興庁として被災者を中心に考えて支援を行う必要性

#### 高橋千鶴子君（共産）

- (1) 国連本部で開催予定の日本原水爆被害者団体協議会が主催する「原爆展」への外務省の後援名義
- ア 後援名義の使用許可について外務省が難色を示している理由
  - イ 原発事故がもたらした被害を国際社会に訴えるため、原発事故被害の写真等を原爆と並んで展示することに対する復興大臣の認識
- (2) 令和2年3月26日に福島県から開始予定の復興五輪の聖火リレー
- ア 新型コロナウイルスの影響による日程等の変更の可能性
  - イ 復興の負の部分も伝えられるルートに変更する必要性
- (3) 暮らしと生業の再建に支援を必要としている被災者がいる限り、政府として支援を継続することに対する復興大臣の見解
- (4) 東日本大震災に係る固定資産税の減免の特例措置
- ア 固定資産税の減免の特例による地方公共団体に対する国の補てん総額

イ 土地区画整理事業の遅れ等の地域の実情を踏まえて延長等の対応をしていく必要性

杉本和巳君（維新）

- (1) 新型コロナウイルスの被災地への影響
  - ア 観光業への影響
  - イ フリーランス等の個人事業主、中小小規模事業者等への影響
  - ウ 学校の休校等に伴う農林水産業への影響
- (2) 復興五輪に対する復興大臣の決意